

英語コースについて（2023年度）

中学英語

中学英語は、ひとりでは学習することが困難な分野に特化して指導します。

つまり、単語の練習や教科書の内容理解などは辞書やガイドを利用して自分で学習できます。また、リスニングは週1回塾で学習して身につくものではなく、毎日少しずつ繰り返し練習することで身につく分野です。

参考書や辞書を見てもひとりで理解できないのが「英作文、書きかえ、英問英答、長文読解」です。

数専ゼミでは、英語の学習のこのような特徴にかんがみ、塾で最も効果のある学習ができるようにこの「英作文、書きかえ、英問英答、長文読解」に特化して指導します。

塾での学習は、原則として、学校で学習している内容に並行して進めます。

学校で学習していない内容でも、復習しておきたい内容があるときにはお申し出下さい。その項目を集中して指導します。（たとえば、不定詞・動名詞がわからないとか、接続詞の使い方がわからないなど。）

中学英語は2つのコースがあります。

(1) 教科書準拠コース

教科書に準拠した問題集をテキストとして、学校の定期テストに向けた学習を指導します。中学1年生から受講できます。

(2) 読解・表現コース

英文を読むと同時にその意味がとれる速読力（日本語を介さないで意味を取る力）、自分の考えを自在に英語で表現できる作文力を指導するコースです。文法単元ごとに学習します。教科書と同じ順序で学習すれば、学校の定期テスト対策の学習になります。学習する内容はそのつど相談しながら選びます。

このコースを受講していて、学校の授業の定着ドリルをしたい人には、教科書準拠問題プリントを無料であげますので、学校の授業が新しい単元に入ったら読求してください。また、学校のテスト範囲のテスト対策問題集も用意してありますので、テスト範囲が渡されたらそのプリントをもってきて下さい。無料であげます。

このコースを受講できるのは中2生からです。

中1では、数専ゼミの教材の問題を解くことが困難と思われるからです。

ただし、中1までの英語の学習を終えている人は、小学生でも中1生でも受講できます。

高校英語

高校英語は、構文・語法を項目別に系統的に指導します。

たとえば、英語Ⅰでは、文型、受動態、不定詞、動名詞、文勢、比較、接続詞、関係詞、否定、強調、英語Ⅱでは、分詞と分詞構文、関係副詞・複合関係詞、仮定法等々。

学習の目標は、長文を速読するための基礎技術を習得することです。

英文を見たら、瞬時に文構造（語や句、節の相互関係、主語・動詞・目的語・補語および修飾語句などの文中の要素の諸関係）を読み取り、日本語を介さないで直接英文の意味を理解する力を習得します。

こうした力がつくと自然に、自分の考えを英文で表現する力（英作文）がつきます。

英文法だからといって、穴埋めや適語選択の問題をやるのではなく、文法規則にしたがって、英文を構成する練習（英作文、書きかえ、英問英答、英文和訳など）が中心となります。学習の目標となる文の構造を自在に操れるように相当量の問題をこなします。

どんな問題をどのように学習するかを具体的に知りたい方は無料体験学習を受講できます。学習したい文法項目を指定してお申込下さい。